

事業者向け 放課後等デイサービス 自己評価表 渡波店 平成 30 年 3 月

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練スペースを拡大し療育しやすい環境になりました。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			安全と、きめ細かな療育を行なうため、基準より多い児童 2 人につき 1 人の割合で配置しています
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			部屋と部屋の間段差にスロープをつけています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			ミーティングなどを活用し話し合う機会を持ちスタッフ各自ができることを認識し取り組むようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		最近アンケートを実施し、保護者の意見や要望は把握できましたので今後改善していきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回から公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者の外部評価はまだしていないので今後取り組みたいと思います。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修の予定が届いた時どの職員に行ってもらうか考慮しその時間を確保するようにしています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別支援計画をもとに個別の療育内容を考慮し実施しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		取組はしているが、標準化までにはいつっていないのが現状です。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			その日の予定を話し合い決定し取り組むようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			先生に今どんなことに取り組んでいるかをお聞きしその目標に応じて取り組みを新たにしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			それぞれの児童の課題に取り組むために資料を準備しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			宿題や学習は個別に行い、歩行訓練やラジオ体操などを集団で行っています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			担当を決めて、それぞれの児童がその日行う療育や課題を把握し取り組んでいます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の出来事を話し合い、今後の療育で何に取り組めるかなどを話し合い共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			業務日誌には個別支援計画や親や本人の意向に関連した事柄を主に記載し、今後の取り組みに役立てています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画をもとに個別の療育内容を考慮し実施しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			パズルや線つなぎ言葉合わせ、工作など様々なことに取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者あるいは管理者が参加するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			毎回の送迎の際、学校の先生とコミュニケーションを取り連携して支援しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	受け入れていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	直接は行っていませんが、相談支援事業所からの聞き取り情報によってかなりの程度理解を得ています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	求められれば情報を提供する用意をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			紹介される中で特に必要と思われる研修を積極的に受けるよう努力しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	特にありません。今後やってみたいと思います。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会があれば参加します。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎の際、必要な場合は電話あるいは訪問し意思疎通を図っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	研修は受けましたので今後の課題です。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の時に説明させていただいています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談に耳を傾け問題にどのように取り組めるか助けを差し伸べるように努力しています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	これまでほとんどできていない分野ですので今後の課題です。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受けた場合の体制はできていますので迅速に対応したいと思います。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	ホームページで発信していますが、保護者の要望にかなうほどの情報量ではありませんので今後充実化させたいと思います。

	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		大切な書類は鍵付きの書庫に保管し、お渡しする書類はすべてチェックし漏洩を防止しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		時間をかけてそれぞれの子どもごとの特性に合わせて意思疎通をはかっています。保護者様の情報も得ながら、接していきます。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		昼食に地域住民を招き共に食事をするなどして開かれた事業所を目指しています。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを作成し、社員とは頻りにマニュアルに基づいた研修し、保護者様にもお伝えしたり緊急時の対応方法をお伝えしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		地震、津波、洪水、放射能、核弾道ミサイル等、様々な災害備えるために研修を行い、実地訓練を行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		管理者が研修を受け、その情報を社員に伝え徹底しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		身体拘束が必要な児童はいませんが、今後その必要がある場合は保護者によく説明するようにします。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		保護者様から情報をいただき対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		頻りに作成し、ミーティングや研修で扱い情報共有と対策を行っています。